

学校だより



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High school

令和7年度 第2号

令和7年12月25日（木）発行

協創挑校
働造戦訓



2学期を振り返って～「自分自身の成長」

校長 岩 佐 延 寿

第2学期が本日で終了いたしました。

8月から12月までの夏から冬の季節で、生徒は季節に応じた学習活動の他、現場実習を含む自分の未来を考える学習、そして、これまでの学習の成果を発揮する学校祭にも取り組みました。私たち教職員は、生徒の成長を実感できるそんな2学期となったように感じています。

さて、2学期の始業式では、「自分自身の成長を感じることができる2学期にしてください」と、次のようなお話を生徒にしました。



自分をより良くするため」や「自分の将来の生活に向けたこと」など、目標を立てて、「自分は、何ができるようになるのか」「自分は、何を学ぶのか／どのように学ぶのか」そして、活動や体験の後に「自分は、何が身に付いたのか」を考えられるようにしてほしいと思います。

皆さんが、今日から始まる2学期のなかで、たくさんのことを学び、「①生活する力」「②対人関係」「③働く力」「④働く意欲など」の面で、自分自身の成長を感じることができる2学期にしてほしいと思います。

上記にある「①生活する力」「②対人関係」「③働く力」「④働く意欲など」は、本校の学校教育目標の中にある「志を持って社会を創る人間」を目指す上で必要な力（生徒のキャリア発達を促すための「四つの領域（①～④）」）として設定し学習活動に取り組んでいます。

2学期の現場実習や学校祭などでは、生徒一人一人が、「自分をより良くするため」や「自分の将来の生活に向け」た目標を立て、学習活動等に取り組み、「自分は、何が身に付いたのか」を振り返り、自分自身が「①生活する力」「②対人関係」「③働く力」「④働く意欲など」の面で成長を実感できたのではと感じています。

保護者等の皆様におかれましては、ぜひ、お子様とこの2学期を振り返っていただき、お子様の「成長」を感じていただくとともに、お子様自身が「成長」実感できるよう、あたたかな言葉を掛けていただければと思います。

終わりになりますが、保護者等の皆様、御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、生徒たちは安心して学校生活を送り、充実した毎日を過ごすことができました。感謝いたします。ありがとうございました。

私たち教職員は、3学期も、生徒たちのさらなる成長を支えてまいります。引き続き、御支援と御協力をよろしくお願いいたします。今年もわずかとなりました。良い年をお迎えください。



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High school



「煌星連結」一人一人が輝いた学校祭

生徒指導部長 菊地 祐子

11月28日、29日の2日間、第13回学校祭を開催いたしました。今年度の学校祭のテーマ「煌星連結」は、生徒一人一人が輝く星のように繋がろうという意味が込められていました。二学期は、各学年で現場実習があり、それに向けての事前事後学習など、気持ちの上でも本当に忙しい毎日を送ってきました。そのような中でしたが、学校祭に向けて、自分たちの持てるパフォーマンスを生き生きと表現する姿が見られ、いろいろな体験を経てそれぞれがたくましく成長している感じが感じられました。保護者等の皆様におかれまして、たくさんの拍手と御声援をいただき、本当にありがとうございました。



1 学年企画（即売会）

「たくさんの御来店・御購入ありがとうございました！」 教諭 中村 裕一

学校祭の1学年企画は、作業学習で製作した製品の即売会です。

『生産技術科』からは、木べらやおもちゃ等の【木工製品】、ストラップや小物等の【革工製品】、紙すきで作ったお祝い袋等の【紙工製品】。

『環境・流通サポート科』からは、生徒がデザインしたイラストを表紙や中身に使用したメモ帳やカレンダー、スケジュール帳等の【紙製品】を販売しました。

開始前から多くの方に並んでいただき、生徒たちは終始対応に追われていましたが、練習してきた通りに、接客や会計など自分の役割に落ち着いて取り組むことができました。

初めての即売会でしたが、途切れることのない行列と一生懸命製作した製品が目の前でどんどん売れていく経験や、アンケートでの温かいコメントをたくさんいただいたこと等、生徒たちにとっては、とても大切な機会となり、深い学びに繋げることができました。

製品は両学科で用意した1,400点弱が完売となりました！ありがとうございました！！



『2 学年企画の取組について』

教諭 鈴木 譲

学年の取組として、食品やドリンクの販売・食券引き換えを行いました。

当日は多くの保護者等や卒業生のほか、多数の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。生徒達は、商品の販売だけでなく、食券の受け取り、交換の対応や飲食スペース等の案内・管理等も行いました。自分の仕事に対して、主体的に関わり、相手の立場を考えながら丁寧な接客を心掛けていました。慣れない仕事ながらも、声を出して説明を行い、仲間と協力しながら自分の役割を果たそうとする姿が見られました。

用意していた商品は全て完売し、活動をやり遂げた達成感を味わうことができました。今回の経験を通して、責任を持って行動する力や人と関わる力を育てる貴重な機会となりました。

生徒達の活動に、御協力・御理解をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。





ちとせなんでも楽団（学校祭発表）

教諭 鎌 仲 咲 樹

春、学校祭の担当に決まったときには、「音楽で始まり、音楽で終わる」演目にしたいと思っていました。そこで、1学期の音楽の授業では、鍵盤楽器、打楽器、木琴・鉄琴を全員が経験し、誰がどの楽器を担当したら良い合奏になるかを考え、その上で合奏の楽譜を作りました。2学期から《オペラ座の怪人》の練習を始めると、生徒たちの練習にも熱が入りました。音楽も徐々に形になることで、生徒から「学校祭で演奏したい」との声があがりました。内心「劇の最後に演奏するよ」と思っていましたが、そのときは秘密に。現場実習に行く前にアンケートをとり、生徒が学年発表でやりたいことをほぼシナリオに盛り込みました。オリエンテーションをしたところで、まさかのインフル騒動！しかし、学年閉鎖中にグループ同士で連絡を取り合い、コントの内容を決めたり、ダンスを練習したりしていたと聞き、2年生のやる気を感じました。短い練習期間でしたが、いい発表ができました。生徒に『感謝』のひとつことです。ありがとうございました！今後も期待しています！



3年間のK I ☆ S E ☆ K I（学校祭企画）

教諭 水 野 直 子

3学年にとっては最後の学校祭、どんな企画が良いか生徒の希望で一番多かったキーワードが「見学旅行」でした。そこで、U S Jで楽しんだマリオカートをイメージしたゲームと大阪で食べた、たこ焼きや京都のスイーツを再現(?)することに決定しました。また、少数ながら「3年間取り組んできた作業のことを伝えたい。」という意見があり、欲張って3つ目の作業体験コーナーも作ることにしました。準備や練習では、生徒たちがイメージをもち、どんどん意見を出し合って進めることができていて、3年間の積み重ねの成果を感じることができました。学校祭当日は忙しくて十分に休憩や食事の時間をとれなかった人もいましたが、最後まで笑顔でお客様に対応することができました。終わった後も「疲れた～、でも楽しかった～」と達成感を感じることができている様子でした。

お越しいただいた皆様、たくさんの応援の言葉に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。





第1学年 現場実習

教諭 高橋 鋭二郎

9月29日(月)から5日間、本校に入学して初めての現場実習が行われました。事前学習から事後学習まで約1か月半に及ぶ学習になりましたが、緊張しながらも一生懸命取り組んでいる姿が見られました。

実習先は、千歳科学技術大学(大学構内の清掃など)、恵千フーズ(ジャガイモの芽取り)、シーアイシー研究所(スキーウェアやテントの畳みなど)、スーパーアークス長都店(商品の品出し・前出し)、ザイマックスカレス北海道(クリーニング業務)、いちはつの会千歳ふくろうの園(清掃、食事の準備・後片付け等)、ホテルグランテラス千歳(ホテル内の清掃)の7社で、普段学校ではできない仕事に取り組みさせていただきました。

残念ながら体調不良で欠席した生徒もいました。しかし、多くの生徒は、初めての实習で不安と緊張でいっぱいでしたが、学校で学んできた働く力を発揮し、その時やるべきことにしっかりと向き合い、この実習を通して多くの成果と課題を発見することができました。

2年生になると、自宅から通える範囲でより現実的な実習になっていきます。今回の経験を生かすとともに、自分の進路を見据え、今後の進路を考える良い機会になることを期待しています。そのためにも、冬休みに福祉事業所等の見学&体験も御検討ください。



第2学年 現場実習

教諭 秋田 聡

学校祭直前の11月上旬、2年生2回目の現場実習を終えました。思い起こせば2年生になったと同時に、1回目の現場実習(6月)への準備、学習が始まり、これまでの2年生の日々は、いつも現場実習のことに頭をよぎらせていたのではと思っています。

高校生活において現場実習は、身を持って社会人を経験する場であり、自分の技量や長所、課題を改めて確かめることができる場です。1年生から始まった複数の実習を通して、3年生の前提実習へと繋げるわけですが、将来のことを主観だけでなく、客観的に考えた自己選択が、できるようになったでしょうか。

社会人になって働くからには「長く」「楽しく」「充実した」毎日を過ごせるほうが絶対にいい。

来年2月には、本人、保護者、担任、進路で話し合いをする四者懇談があります。これまでの現場実習の反省を振り返り、自分のことをしっかり理解することで、最良の進路選択ができるはずです。そんな生徒のみなさんを全力で応援していきます。



3学年前提実習を終えて

教諭 向 かおり

9月から10月にかけて、3学年はこれまでの学びを集結させ、就職試験とも言える前提実習に臨みました。

進路選択においては、自分と向き合いながら、将来についてじっくりと考えを深めてきました。1、2学年での体験実習や日々の作業学習など、一つ一つの成果や課題を整理しながら取り組むことで、初めはぼんやりしていた将来像を、少しずつ明確にすることができたと思います。

今回の実習では、それぞれが自分の目標を明確に持って取り組む姿が見られ、これまでの学習の積み重ねの大きさを感じました。

進路先や業種は違いますが、皆さんの前向きな姿勢は職場の方にも伝わり、「礼儀正しさ」「一生懸命さ」「コミュニケーション」といった、働く姿勢や態度の面で、たくさんの高い評価をいただきました。働く上で基礎となる力が身に付いていることに自信を持って、さらなる成長を目指してほしいと思います。

学校生活は残りわずかとなりますが、引き続き社会に出る準備を整える有意義な時間となるよう願っています。

